

令和2年度

(2020年度)

学 生 募 集 要 項

(特 別 入 試)

推薦入試 I (大学入試センター試験を課さない)

国際地域創造学部 国際地域創造学科 (昼間主コース・夜間主コース)

教育学部 学校教育教員養成課程 中学校教育コース
教科教育専攻 技術教育専修

農学部 亜熱帯地域農学科
亜熱帯農林環境科学科
地域農業工学科
亜熱帯生物資源科学科 (健康栄養科学コースを含む)

推薦入試 I (大学入試センター試験を課さない) (英語重視)

教育学部 学校教育教員養成課程 中学校教育コース
教科教育専攻 英語教育専修

農学部 亜熱帯地域農学科
亜熱帯農林環境科学科
地域農業工学科
亜熱帯生物資源科学科 (健康栄養科学コースを除く)

令和元年9月

琉球大学

問 い 合 わ せ 先 等 一 覧

事 項	問 い 合 わ せ 先	電 話 番 号
インターネット出願に関すること	志願受付操作サポート窓口	0120-752-257
個別学力検査等に関すること	学生部入試課	098-895-8141 098-895-8142
	国際地域創造学部学務係	098-895-8184
	教育学部学務係	098-895-8317
	農学部学務係	098-895-8738
合格発表 令和元年12月16日(月)午前11時 (詳しくは13ページをご覧ください)	各学部で合格者の受験番号を掲示します。 また、琉球大学ホームページ (http://www.u-ryukyu.ac.jp/) → [入試情報]) にも掲載します。	
入学料、授業料の <u>納付</u> に関すること	財務部経理課収入・支出係	098-895-8058
入学料、授業料の <u>免除</u> に関すること	学生部学生支援課学生援護係	098-895-8135
奨学金に関すること	学生部学生支援課奨学係	098-895-8136
受験時の合理的配慮等に関すること	障がい学生支援室	098-895-8750

※お問い合わせ対応時間：月曜日～金曜日（休日を除く） 午前8時30分～午後5時15分
 ※お問い合わせは、原則として志願者本人が行ってください。

入 試 情 報 ケ ー タ イ サ イ ト

琉球大学の入試情報やイベント情報などが携帯電話で閲覧できます。



<http://daigakujc.jp/u-ryukyu/>

目 次

○インターネット出願について	WEB1
○琉球大学入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	AP1
1. 学部・学科等及び募集人員	1
2. 出願資格・要件	2
3. 推薦人員	4
4. 試験日程等	4
5. 入学願書受付期間及び出願方法	5
(1) 出願手順	5
(2) 受付期間	5
(3) 提出方法・提出先	5
(4) 受験票について	5
6. 出願書類等	6
7. 入学検定料の払込について	7
8. 東日本大震災，熊本地震，平成30年7月豪雨又は北海道胆振東部地震により被災した 令和2年度琉球大学入学者選抜試験志願者の検定料に関する特例措置について	8
9. 出願に関する注意	8
10. 受験時における合理的配慮等について	9
11. 選抜方法等	10
12. 試験日時及び試験場	11
13. 受験に関する注意	12
14. 合格発表	13
15. 入学手続	13
16. 入学前教育	14
17. 推薦入試志願者が国公立大学・学部の一般入試を志願する場合の取扱い	14
18. 個人情報の利用等について	14
19. 入試情報開示に関する事項	15
○出願書類等一覧 出願書類等の記入上の注意	

○インターネット出願について

琉球大学では、昨年度から、インターネット出願を開始しています。インターネット出願とは、専用サイトで志願者情報の登録を行って入学検定料を支払い、本学へ印刷した出願書類等を郵送することを行います。専用サイトで志願者情報を登録するだけでは出願となりませんのでご注意ください。

学生募集要項は本学ホームページ (<http://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/recruitment/>) に掲載します。専用サイトでの志願者情報登録前に学生募集要項を必ずご確認ください。

《推薦入試Ⅰインターネット出願サイト》

http://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/recruitment/#internet_application/

登録期間 令和元年10月23日(水)～11月8日(金)午後5時

*登録期間以外は、登録できません。

*インターネット出願を理解していただくための体験版が以下の日程でご利用できます。

体験版からは出願できません。

体験版利用期間 令和元年9月20日(金)～10月18日(金)午後5時

【インターネット出願の流れとスケジュール】



【インターネット出願の注意点】

1. インターネット出願サイトでの登録、入学検定料の支払い、出願書類等の本学への郵送が必要です。郵送した出願書類等の受付処理後に、専用サイトで登録したメールアドレスへ受験番号確定お知らせメールを送信します。

インターネット出願サイトで登録、入学検定料の支払いだけでは出願は完了しません。

2. 受験票は自身でプリントアウトし、試験当日に必ず持参してください。

受験票は「受験番号確定お知らせメール」を受信した後、プリントアウトが可能になります。

○琉球大学入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

平成29年2月9日
制 定

1. 琉球大学の教育の目的と理念

琉球大学は、「自由平等，寛容平和」の建学の精神の下，「普遍的価値を身につけた21世紀型市民として，地域社会及び国際社会の発展に寄与できる人材」の育成を掲げ，さらに具体的に以下の4つを目指し人材を育成します。

- (1) 豊かな教養と自己実現力を有し，総合的な判断力を備えた人材
- (2) 優れた専門性を持ち，地域社会及び国際社会に貢献する人材
- (3) 外国語運用能力と国際感覚を有し，国際社会で活躍する人材
- (4) 地域の歴史と自然に学び，世界の平和及び人類と自然の共生に貢献する人材

2. 求める学生像

琉球大学は，このような教育理念を理解し，本学で学ぶ強い意欲を持ち，次のような資質をもった人を積極的に受け入れます。

- (1) 高等学校段階までの教育において，基礎的な知識・技能を習得し，問題意識を持ち続け，主体的に学習に取り組む態度を身につけた人
- (2) 異なる歴史的・文化的特性や価値観を理解し，地域社会及び国際社会で貢献する意欲のある人
- (3) 自分自身の可能性を信じ，自己の個性を生かし，自己実現に意欲のある人

3. 入学者選抜の基本方針

琉球大学は，各学部・学科等の求める学生像に沿って，多様な入試方法により知識・技能やそれらの活用能力の評価だけでなく，意欲と主体性をもって学ぶことができるかを，多面的・総合的に評価し，社会人や留学生など多様な人を広く受け入れます。

各学部の入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)については，
各学士教育プログラムにおける入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)
(<http://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/3policy/admission/>)
をご覧ください。

1. 学部・学科等及び募集人員

学部名	学 科 等		募集人員	備 考
国際地域 創造学部	国際地域創造学科（昼間主コース）		50名	うち専門高校卒業生枠5名
	国際地域創造学科（夜間主コース）		13名	うち専門高校卒業生枠2名
	計		63名	
教育学部	学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻	技術教育専修	1名	
	計		1名	
農 学 部	亜熱帯地域農学科		7名	農業関連学科から4名, その他の学科から3名
	亜熱帯農林環境科学科		7名	農業関連学科から4名, その他の学科から3名
	地域農業工学科		5名	農業関連学科から2名, その他の学科から3名
	亜熱帯生物資源科学科 （健康栄養科学コースを除く）		6名	農業関連学科から3名 その他の学科から3名
	亜熱帯生物資源科学科 健康栄養科学コース		2名	募集枠は区分しない
	計		27名	
英 語 重 視				
教育学部	学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻	英語教育専修	1名	
	計		1名	
農 学 部	亜熱帯地域農学科		4学科で2名	
	亜熱帯農林環境科学科			
	地域農業工学科			
	亜熱帯生物資源科学科 （健康栄養科学コースを除く）			
	計		2名	
合 計			94名	

2. 出願資格・要件

本学の推薦入試Ⅰに入学を志願できる者は、次の出願資格・要件に該当するものです。

実施学部・学科	出願資格・要件
国際地域創造学部 国際地域創造学科 (昼間主コース) (夜間主コース)	次の(1)～(3)又は(4)に該当する者 (1) 高等学校等(*)を令和2年3月卒業(修了)見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和元年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者 なお、専門高校卒業生枠にあつては高等学校の商業または観光関連学科を令和2年3月に卒業見込みの者 (2) 学習成績・人物が優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者 なお、学習成績概評がⒶ又はAに属する者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者 (4) 本学において、個別の入学資格審査により、上記(1)～(3)と同等以上であると認められ、入学資格認定書の交付を受けた者で、令和2年3月31日までに18歳に達するもの
教育学部 学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻 技術教育専修	次の(1)～(3)又は(4)に該当する者 (1) 高等学校等(*)を令和2年3月卒業(修了)見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和元年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者 (2) 高等学校等の学習成績・人物が優秀で、技術の分野に強い関心と勉学意欲を有し、数学及び理科の評定平均値が各々4.3以上かつ全体の評定平均値が4.0以上の者で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できるもの (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者 (4) 本学において、個別の入学資格審査により、上記(1)～(3)と同等以上であると認められ、入学資格認定書の交付を受けた者で、令和2年3月31日までに18歳に達するもの
農学部 亜熱帯地域農学科 亜熱帯農林環境科学科 地域農業工学科 亜熱帯生物資源科学科 (健康栄養科学コースを含む)	次の(1)～(3)又は(4)に該当する者 (1) 高等学校等(*)を令和2年3月卒業(修了)見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和元年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者 なお、農業関連学科にあつては教科「農業」の科目を20単位以上履修した者又は履修見込みのもの (2) 高等学校等の学習成績・人物が優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者 なお、学習成績概評がⒶに属する者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者 (4) 本学において、個別の入学資格審査により、上記(1)～(3)と同等以上であると認められ、入学資格認定書の交付を受けた者で、令和2年3月31日までに18歳に達するもの

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程をいう。

実施学部・学科	出願資格・要件
(英語重視) 教育学部 学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻 英語教育専修	次の(1)～(4)又は(5)に該当する者 (1) 高等学校等(*)を令和2年3月卒業(修了)見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和元年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者 (2) 学習成績・人物が優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で全体の評定平均値が4.2以上のもの (3) 次のいずれかに該当する者 ① 実用英語技能検定試験で準1級以上を取得した者 ② TOEFL試験でiBT61点以上を取得した者 ③ TOEIC Listening & Reading Testで600点以上を取得した者 (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者 (5) 本学において、個別の入学資格審査により、上記(1)～(4)と同等以上であると認められ、入学資格認定書の交付を受けた者で、令和2年3月31日までに18歳に達するもの
(英語重視) 農学部 亜熱帯地域農学科 亜熱帯農林環境科学科 地域農業工学科 亜熱帯生物資源科学科 (健康栄養科学コースを除く)	次の(1)～(5)又は(6)に該当する者 (1) 高等学校等(*)を令和2年3月卒業(修了)見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和元年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者 (2) 特に農林畜産業、食料・環境問題、生物資源・環境(動植物、土壌、森林等)の分野に強い関心と勉学意欲がある者 (3) 高等学校等の学習成績・人物が優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で全体の評定平均値が4.0以上のもの (4) 高等学校等在学時に外国留学(英語圏に限定しない)の経験年数が10か月以上あり、かつ次のいずれかに該当する者 ① 実用英語技能検定試験で2級以上を取得した者 ② TOEFL試験でiBT48点以上を取得した者 ③ TOEIC Listening & Reading Testで520点以上を取得した者 (5) 合格した場合は、入学することを確約できる者 (6) 本学において、個別の入学資格審査により、上記(1)～(5)と同等以上であると認められ、入学資格認定書の交付を受けた者で、令和2年3月31日までに18歳に達するもの

* 「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程をいう。

3. 推薦人員

学部	学 科 等				推 薦 人 員
国際地域創造学部	国際地域創造学科				各高等学校等の長が推薦できる人員は、1高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む。）につき昼間主は6名、夜間主は3名以内とする。ただし、専門高校卒業生枠については、昼間主は2名、夜間主は2名以内とし、専門高校卒業生枠は内数とする。
教育学部	教員養成課程	中学校コース校	教科教育専攻	技術教育専修	1高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき2名以内とする。
				英語教育専修（英語重視）	各高等学校等の長が推薦できる人員は制限しない。
農学部	亜熱帯地域農学科				各学科ともに1高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む。）につき2名以内。ただし、1高等学校から農学部推薦可能な人員は5名とする。
	亜熱帯農林環境科学科				
	地域農業工学科				
	亜熱帯生物資源科学科（健康栄養科学コースを含む）				
	（英語重視）	亜熱帯地域農学科			
亜熱帯農林環境科学科					
地域農業工学科					
亜熱帯生物資源科学科（健康栄養科学コースを除く）					

4. 試験日程等

入学願書受付期間 (出願書類提出期間)	令和元年11月 1日(金)～11月 8日(金)
試 験 日	令和元年12月 4日(水)
合 格 発 表	令和元年12月16日(月) 午前11時
入 学 手 続	令和2年 2月17日(月)～2月18日(火)

5. 入学願書受付期間及び出願方法

(1) 出願手順

- ① 出願登録のためのEメールアドレスの準備
Eメールアドレスは、スマートフォン・携帯電話やフリーメールも利用可能ですが、本学からのメール (nyushi-ryukyu@acs.u-ryukyu.ac.jp) を確実に受信できるよう設定を確認してください。登録されたEメールアドレス宛に、出願情報登録完了等の確認メールを送信します。
- ② インターネット出願サイトへの登録
大学ホームページにアクセスして、学生募集要項を確認するかプリントアウトしてご覧ください。
入試課ホームページのインターネット出願サイトより出願情報の登録を行います。
※自宅にパソコンやスマートフォン等インターネット環境がない場合は、自宅以外(学校等)のパソコン等(インターネット環境)を利用いただいてもかまいません。
- ③ 入学検定料の払込(7ページ「7. 入学検定料の払込について」参照)
- ④ 出願書類等の提出(出願書類については6ページ「6. 出願書類等」参照)

(2) 受付期間

インターネット出願登録 及び 入学検定料払込開始日	令和元年10月23日(水)～ インターネット出願登録だけでは出願手続きは完了しません。 入学願書受付期間内に書類等を提出することが必要です。
インターネット出願登録 可能期間	令和元年10月23日(水)～11月8日(金)午後5時 インターネット出願登録だけでは出願手続きは完了しません。 入学願書受付期間内に書類等を提出することが必要です。
入学願書受付期間 (書類提出期間)	令和元年11月1日(金)～11月8日(金) <u>午後5時必着(消印有効ではありません。)</u>

※書類を郵送する際は、郵便の事情等による郵便物の遅配が予想されますので、十分な時間的余裕をもって発送してください。(消印有効ではありません。)

(3) 提出方法・提出先

「6. 出願書類等」は、インターネット出願サイトから印刷した宛名ラベルを貼った市販の封筒(角形2号)に入れ、「書留郵便」で郵送してください。入学願書受付期間終了後に到着した場合には受理しませんので、ご注意ください。

※1 入学願書の受付は、原則として郵送に限ります。ただし、高等学校等が生徒の入学願書を取りまとめて提出する場合及び(2)の入学願書受付期間内に到着しないおそれがある場合は、持参による提出を認めます。

※2 持参の場合の受付時間：午前9時～午後5時(土、日曜日を除く)

提出先：〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
全保連ステーション(大学会館)1階 琉球大学入試課
電話 098-895-8141, 8142

(4) 受験票について

書類を受付後、令和元年11月14日(木)までにインターネット出願サイトで登録したEメールアドレスへ「受験番号確定お知らせメール」を送信します。受験票は、受験番号確定お知らせメールを受信した後に、インターネット出願サイトよりダウンロードしてください。ダウンロードした受験票は印刷し、試験当日に必ず持参してください。

※1 登録したEメールアドレスは、大学からのメール(nyushi-ryukyu@acs.u-ryukyu.ac.jp)を確実に受信できるよう設定を確認してください。

※2 令和元年11月15日(金)までに「受験番号確定お知らせメール」が登録したEメールアドレスに届かなかった場合は、インターネット出願登録をした際の整理番号を確認の上、琉球大学入試課(電話098-895-8141, 8142)へ連絡してください。

6. 出願書類等

(1) 高等学校等から取り寄せる書類

出願書類等	事 項
1. 調査書	出身高等学校等の長が作成し、厳封したものを提出してください。 なお、被災等の事情により調査書を提出できない者は卒業証明書または修了見込み証明書及び成績証明書を提出してください。 ※調査書またはそれに代わる証明書等を提出できない者は、入試課までご相談ください。
2. 資格取得等を証明する資料 (英語重視のみ)	教育学部又は農学部の「英語重視」に出願する者は、出願資格に該当する資格取得等を証明する書類を提出してください。 ・教育学部「英語重視」…3ページ参照 ・農学部「英語重視」…3ページ参照
3. 住民票の写し (外国籍の者のみ)	外国籍を有する者は、市町村長発行のマイナンバーの記載のない住民票の写し(記載事項の省略が無いもの。)を提出してください。

※調査書について

- ①文部科学省所定の様式に従い出身高等学校等の長が作成した調査書により、入学志願者の高等学校在学中の学習成績、特別活動等について審査します。
- ②高等学校等の長が調査書を作成する際には、次の事項を記入してください。
 - ア. 学習成績概評がAに属する生徒のうち、人物・学力ともに特に優秀で出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者については、「学習成績概評」欄にⒶと標示し、「備考」欄にその理由を明示してください。
 - イ. 「総合的な学習の時間の内容・評価」の欄については、「総合的な学習の時間」を履修していない場合には当該欄に斜線を引いてください。

(2) インターネット出願サイトから印刷する書類

出願書類等	事 項
4. 出願確認票	インターネット出願登録後、同サイト内の申し込み確認ページより印刷してください。 ※印字されている内容に誤りがないか、確認してください。修正する場合は、該当部分を二重線で消し、黒のボールペン(消せるボールペンは不可)で記入してください。
5. 宛名ラベル	インターネット出願登録後、同サイト内の申し込み確認ページより印刷したものを郵送用の封筒に貼り付けてください。 ※1 印字されている内容に誤りがないか、確認してください。修正する場合は、該当部分を二重線で消し、黒のボールペン(消せるボールペンは不可)で記入してください。また、提出書類等について確認の上、チェックしてください。 ※2 封筒は、市販の角形2号封筒(240mm×332mmでA4サイズの書類を折らずに入れることができる封筒)を準備してください。 ※3 宛名ラベルの住所に合格通知書を送付します。宛名ラベルとは異なる住所に合格通知書の送付を希望する場合は、「受験番号確定お知らせメール」受信後に受験番号を確認の上、琉球大学入試課(電話098-895-8141, 8142)へ連絡してください。

(3) 本学様式指定の書類

様式は令和2年度推薦入試I学生募集要項[様式集]の【出願書類】(http://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/recruitment/r2exam-suisen_1/)からダウンロードし、A4サイズで印刷してください。

出願書類等	事 項
6. 推薦書	出身高等学校等の長が作成し、厳封したものを提出してください。
7. 志願理由書	志願者本人の直筆により作成してください。

※出願書類の印刷について

出願書類の印刷はモノクロ、カラー、片面、両面どちらでもかまいません。
また、印刷用紙は普通紙でかまいません。

7. 入学検定料の払込について

- (1) 検定料 (昼間主コース) 17,000円
(夜間主コース) 10,000円

①入学検定料の他に、別途必要な支払い手数料(640円)は志願者負担となります。

②東日本大震災、熊本地震、平成30年7月豪雨又は北海道胆振東部地震により被災された方については、入学検定料免除の特例措置を行っております。条件や手続きの詳細については、「8. 東日本大震災、熊本地震、平成30年7月豪雨又は北海道胆振東部地震により被災した令和2年度琉球大学入学者選抜試験志願者の検定料に関する特例措置について」を参照。

※試験成績開示を希望する場合は、検定料に開示手数料及び郵送料660円を併せて徴収します。

(2) 入学検定料払込期間

令和元年10月23日(水)～11月8日(金)午後5時

(3) 払込方法(インターネット出願サイトで選択できます。)

コンビニエンスストア、Pay-easyでの支払い(銀行ATM、ゆうちょ銀行ATM、ネットバンキング)、クレジットカード(VISA、Master Card、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club)のいずれかで入学検定料の支払いが可能です。

①銀行窓口での支払いはできません。

②コンビニエンスストアに設置されているATMでの支払いはできません。

③コンビニエンスストアでの支払いは現金のみです。電子マネーやクレジットカードは利用できません。

(4) 検定料の返還について

払込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

ア. 検定料を支払ったものの、出願しなかった場合(出願書類を提出しないまま入学願書受付期間が終了、又は書類不備等により出願書類が受理されなかった場合)

イ. 誤って検定料を二重に支払った場合

ウ. 特例措置対象者(8ページ参照)が検定料を支払った場合

※ いずれの場合でも、支払い手数料(640円)は返還しません。

令和2年度推薦入試I学生募集要項[様式集]の【該当者のみの書類】(http://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/recruitment/r2exam-suisen_1/)より所定の様式「返還金払戻請求書」をダウンロードし、A4サイズで印刷の上必要事項を記入し、払戻の理由を選択、氏名欄へ押印の上、下記へ送付してください。

①送付期限：令和2年3月31日(火)

※1 封筒には「返還金払戻請求書在中」と朱書きしてください。

※2 返還は銀行振込で行います。保護者名義口座の場合は必ず続柄も明記してください。

ゆうちょ銀行口座を指定する場合は、振込用の店名・店番・預金種目・口座番号を明記してください。(返還には請求書受理後2～3か月程度かかります。)

②送付先

上記(ア・イ)に該当する場合

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
琉球大学財務部経理課収入・支出係
電話 098-895-8058

上記(ウ)に該当する場合

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
全保連ステーション(大学会館)1階 琉球大学学生部入試課
電話 098-895-8141, 8142

8. 東日本大震災，熊本地震，平成30年7月豪雨又は北海道胆振東部地震により被災した令和2年度琉球大学入学者選抜試験志願者の検定料に関する特例措置について

琉球大学では，令和2年度の全ての入学者選抜試験に関して，被災者の経済的負担を軽減することにより，受験の機会を確保するため，昨年度に引き続き特例措置を実施します。

(1) 措置内容

検定料の免除 昼間主：17,000円 夜間主：10,000円

(2) 免除の対象者及び必要書類

対 象 者	必要書類
① 東日本大震災，熊本地震，平成30年7月豪雨又は北海道胆振東部地震における災害救助法が適用されている地域で被災した志願者で，以下のいずれかに該当する者	
ア 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊，大規模半壊，半壊，流失した場合	り災証明書
イ 主たる家計支持者が死亡，又は行方不明の場合	死亡又は行方不明を証明する書類
② 居住地が福島第一原子力発電所事故により，帰還困難区域，居住制限区域又は避難指示解除準備区域に指定された者	被災証明書

(3) 申請の方法

様式については令和2年度推薦入試I学生募集要項〔様式集〕の【該当者のみの書類】(http://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/recruitment/r2exam-suisen_1/)よりダウンロードし，A4サイズで印刷の上作成してください。

①手続きについて，インターネット出願サイトに登録する前に，入試課へご連絡ください。

②本学所定の様式（検定料免除申請書）に，り災証明書等を添えて，出願書類とともに同封のうえ提出してください。なお，申請する場合は「検定料」を払い込まないでください。

また，すでに納付した検定料の返還を希望する場合は，本学所定の様式（返還金払戻請求書）に，り災証明書等を添えて学生部入試課へ申請してください。申請後，検定料を返還します。

（払戻の理由は「4. 東日本大震災，熊本地震，平成30年7月豪雨又は北海道胆振東部地震において被災」を選択してください。）

※返還金払戻請求書の送付期限は，令和2年3月31日（火）までとします。

提出先：〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

全保連ステーション（大学会館）1階 琉球大学入試課

電話 098-895-8141

9. 出願に関する注意

(1) 国公立大学の推薦入試は，大学入試センター試験を課すもの及び課さないものを含めて，1つの大学・学部しか出願できません。よって，本学の推薦入試I，推薦入試IIを併願することはできません。また，本学の推薦入試と他の国公立大学の推薦入試を併願することもできませんのでご注意ください。

(2) 出願書類の志願者の氏名は，通称・略字等は使用せず，正確かつ丁寧に記入してください。

また，インターネット出願登録の際に氏名の漢字が正しく表記されない，文字数制限のため氏名の入力ができない場合は氏名の一部を入力の上，印刷した出願確認票の該当部分を二重線で消し，黒のボールペン（消せるボールペン不可）で正しい氏名を記入してください。

(3) 国際地域創造学部，農学部志願者のうち，専門高校卒業生枠又は農業関連学科による推薦である場合は，推薦書，志願理由書の所定の欄に○印を付してください。

(4) 農学部亜熱帯生物資源科学科のうち健康栄養科学コースに志願する者は，志願者票にコース名まで記入してください。

(5) 出願書類に記入もれ，その他不備がある場合は受理しません。

(6) 出願書類の受付後は，出願書類の返却及び記載事項の変更は認めません。

(7) 出願書類の記載と相違する事実が発見された場合は，入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。

(8) 出願書類提出後，「出願確認票」で届け出た志願者現住所，不在の時の連絡先が変更になった場合は，直ちに琉球大学入試課（電話098-895-8141，8142）に連絡してください。

10. 受験時における合理的配慮等について

本学の選抜試験志願者で、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成25年法律第65号）第2条第1号に定める障害者〔身体障害、知的障害、精神障害（発達障害を含む）その他の心身の機能の障害（以下「障害」と総称する）がある者であって、障害及び社会的障壁により継続的に日常生活又は社会生活に相当な制限を受ける状態にあるものをいう。〕で、受験時に合理的配慮を必要とする志願者は、あらかじめ本学障がい学生支援室に申請してください。

本学において申請された配慮事項について検討し、その結果を「受験時における合理的配慮の検討結果通知書」により郵送にて通知します。検討結果通知書の受領後は、記載事項を確認し同封の書類をご返送ください。

なお、合理的配慮の内容によっては対応に時間を要する場合があります。事前相談は随時受け付けておりますので、早めの相談、申請書提出をお願いいたします。

○申請の時期

令和元年11月8日（金）午後5時まで

○申請方法

本学指定の様式「受験時における合理的配慮申請書」を障がい学生支援室へ提出してください。障がい学生支援室が必要と判断した場合は、志願者、保護者又はその立場を代弁し得る出身学校担当者等との面談等を行います。

「受験時における配慮申請書」の様式は、本学障がい学生支援室ホームページ（<http://g-support.std.u-ryukyu.ac.jp/>）「支援を希望される皆さまへ」からダウンロードできます。

また、上記以外で疾病・負傷等により、受験時に特別な配慮を必要とする者も、上記申請の時期までに本学障がい学生支援室に電話、FAX又はメールでご相談ください。

連絡先：〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
全保連ステーション（大学会館）2階
琉球大学 障がい学生支援室
電 話 098-895-8750
FAX 098-895-8791
メールアドレス g-support@acs.u-ryukyu.ac.jp

11. 選抜方法等

大学入試センター試験を免除し、高等学校等の長の推薦に基づき、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考します。

○個別学力検査等の配点

学 部	学科・課程・コース・専攻・専修		小論文	面 接	調査書	推薦書	志願理由書	合 計
国際地域創造学部	国際地域創造学科 (国間主コース・夜間主コース)		200	200	200			600
教育学部	学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻	技術教育専修	/	300 (口頭試問を含む)	200	面接の参考とする		500
農 学 部	亜熱帯地域農学科 亜熱帯農林環境科学科 地域農業工学科 亜熱帯生物資源科学科 (健康栄養科学コースを含む)		150	150	50	面接の参考とする	50	400
英 語 重 視								
教育学部	学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻	英語教育専修	/	300	200	面接の参考とする		500
農 学 部	亜熱帯地域農学科 亜熱帯農林環境科学科 地域農業工学科 亜熱帯生物資源科学科 (健康栄養科学コースを除く)		/	300	50	面接の参考とする	50	400

※教育学部学校教育教員養成課程中学校教育コース教科教育専攻英語教育専修（英語重視）及び農学部（英語重視）の面接は英語により行います。

12. 試験日時及び試験場

(1) 試験日時 令和元年12月4日(水)

志願者は試験開始時刻の30分前までに各学部が指定している場所へ集まってください。

教育学部：学部玄関前

国際地域創造学部：国際地域創造学部試験場

農学部：共通教育棟3号館玄関前

面接においては集合時刻までに各学部が指定している場所へ集まってください。

教育学部：学部玄関前

国際地域創造学部：国際地域創造学部試験場

農学部：共通教育棟3号館玄関前

学 部	学科・課程・コース・専攻・専修		試験時間	集合時刻
			小 論 文	面 接
国際地域創造学部	国際地域創造学科 (昼間主コース・夜間主コース)		10:00~12:00	13:00
教育学部	学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻	技 術 教 育 専 修	/	9:30
農 学 部	亜熱帯地域農学科 亜熱帯農林環境科学科 地域農業工学科 亜熱帯生物資源科学科 (健康栄養科学コースを含む)		10:00~11:30	13:00
英 語 重 視				
教育学部	学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻	英 語 教 育 専 修	/	9:30
農 学 部	亜熱帯地域農学科 亜熱帯農林環境科学科 地域農業工学科 亜熱帯生物資源科学科 (健康栄養科学コースを除く)		/	10:00

(2) 試験場

試験前日[令和元年12月3日(火)]の午後3時以降に、各試験場の建物入り口において、受験者に対する連絡、注意事項及び試験室配置図を掲示しますので、できるだけ試験場の下見を行ってください。下見は午後3時から午後6時頃までに行ってください。

各試験場の場所については、試験場配置図(http://www.u-ryukyu.ac.jp/wp-content/uploads/2019/09/r2exam-suisen_1-map.pdf)を参照してください。

農学部試験場は、農学部棟改修工事のため共通教育棟3号館となりますのでご注意ください。集合場所は下記のとおりです。

教育学部：学部玄関前

国際地域創造学部：国際地域創造学部試験場

農学部：共通教育棟3号館玄関前

なお、試験当日はバスなどの交通機関の混雑が予想されますので、早めに試験場へ向かってください。

13. 受験に関する注意

- (1) 試験場は、学部ごとに散在していますので、事前に下見をしておくことをお勧めします。なお、試験場の試験室配置図及び注意事項は、試験前日〔令和元年12月3日（火）〕の午後3時以降に掲載します。下見は午後3時から午後6時頃までに行ってください。
- (2) 試験当日は、**試験開始時刻の30分前まで、面接においては集合時刻までに各試験場へ到着してください。**なお、試験室への入室は監督者の指示に従ってください。
- (3) **試験開始時刻（面接においては、集合時刻）から30分を超えて遅刻した者は、受験することができません。**
- (4) **試験室には、必ず本学の受験票を携帯し、監督者の指示に従い所定の場所に置いてください。**万一忘れた場合は、当該試験場に設置している試験場本部に申し出てください。
- (5) 試験室の机上には、本学の受験票、時計（時計機能だけのもの）、筆記用具〔鉛筆（HB）、シャープペンシル（HB）、消しゴム、鉛筆削り（電動式を除く。）〕のみを置いてください。それ以外の所持品は、監督者の指示に従ってください。
- (6) 問題冊子は、試験開始の合図があるまで絶対に開かないでください。
- (7) 解答用紙には、受験番号を正確に記入してください。受験番号の記入もれ又は誤記がある場合は、無効とすることがあります。
- (8) 試験中に不正行為をしたり、あるいは解答用紙を試験室外に持ち出した場合には、無効となります。
- (9) 試験時間中は、試験室からの退室は認めません。ただし、用便、身体の不調又は質問等がある場合は、挙手をして監督者の指示に従ってください。
- (10) 解答用紙は、解答の如何にかかわらず必ず提出してください。
- (11) **携帯電話やスマートフォン、腕時計型端末等の音の出る機器は、必ず試験室に入る前にアラームの設定を解除し、電源を切って、かばん等に入れておいてください。**
- (12) **耳せんは、監督者の指示が聞き取れないことがあるので、使用を認めません。**
- (13) 試験当日は、各試験場内への自動車、オートバイ等の乗り入れを禁止します。
- (14) 悪天候等による交通機関の遅延・欠航・運休が予想される場合は、十分な時間的余裕をもって試験会場に到着するようにしてください。
- (15) 咳、くしゃみ、鼻水等の症状がある場合には、他人への感染を防止するため、マスクを着用してください。
- (16) 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、受験の中止と退室を命じられ、それ以後の受験はできなくなります。また、既に受験した個別学力検査等の成績も無効になります。
 - ① 出願確認票、受験票、解答用紙へ故意に虚偽の記入（受験票に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の名前・受験番号を記入するなど）をすること。
 - ② カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること。
 - ③ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
 - ④ 試験時間中に、問題冊子を試験室から持ち出すこと。
 - ⑤ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
 - ⑥ 「解答はじめ」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
 - ⑦ 試験時間中（面接（口頭試問、実技を含む）時間及び面接（口頭試問、実技を含む）待機時間を含む。）に、携帯電話やスマートフォン、腕時計型端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。（ただし、緊急の連絡が必要な場合は、試験監督者等に申し出ること。）
 - ⑧ 試験時間中に、使用を認められていない定規、コンパス、電卓等の補助具を使用すること。
 - ⑨ 「解答やめ。鉛筆を置いて問題冊子を閉じてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

(17) (16)以外にも、次のことをすると不正行為になることがあります。指示に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは(16)と同様です。

- ① 試験時間中に携帯電話等の電子機器類や使用を認められていない定規、コンパス、電卓等の補助具をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
- ② 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ③ 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
- ④ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑤ 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
- ⑥ その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

14. 合格発表

合格者の発表は、下記のとおり掲示するとともに、本人あてに合格通知書を郵送し、琉球大学ホームページ（<http://www.u-ryukyu.ac.jp/> → [入試情報]）にも掲載します。不合格者への通知は行わず、電話による合否の問い合わせには一切応じません。

なお、入学手続案内（入学手続書類）は、令和2年2月上旬に本人あてに郵送します。

また、合否の結果は、出身高等学校等の長にも通知します。

発表日時	令和元年12月16日（月） 午前11時
発表場所	各学部玄関前

15. 入学手続

(1) 入学手続期間

令和2年2月17日（月）～18日（火）（午前9時から午後5時）

(2) 提出書類

- ① 誓約書、保護者等連絡票（本学所定の用紙）
- ② 写真（縦4cm×横3cm）1枚（上半身・脱帽・正面向きで、提出前3か月以内に撮影したもの）
- ③ 高等学校の卒業（見込）証明書（大学入試センター試験の受験票を持っている者は、同受験票も提出してください。）

(3) 入学料及び授業料

	昼間主コース	夜間主コース
入学料（予定額）	282,000円	141,000円
授業料（予定額）	（前期分）267,900円 （年 額）535,800円	（前期分）133,950円 （年 額）267,900円

※1 上記については予定額であり、入学時及び在学中に金額の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。

※2 授業料の納入については、本人の申し出により前期分の納入の際に後期分も併せて納入することができます。

※3 「入学料免除・徴収猶予」及び「授業料免除」制度があります。詳細は、合格者に送付する「入学手続案内」をご確認いただくか、学生部学生支援課学生援護係にお問い合わせください。

(4) 入学手続場所

合格した各学部で行います。

(5) 留意事項

- ①推薦入試の合格者は、本学の定める入学手続期間中に入学手続を行ってください。
- ②出願後に生じた特別の事情により入学を辞退する場合には、当該者の推薦を行った出身高等学校等の長を経由して令和2年2月18日（火）までに「推薦入学辞退願」を合格学部へ提出し、その許可を得た場合に限り、その入学辞退を認めます。
- ③上記②による入学辞退許可を受けずに入学を辞退したり、入学手続を行わない場合には、翌年度以降当該出身高等学校等の長からの推薦を受理しないので、注意願います。また、その場合、本年度に出願済の他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ）を受験しても入学許可は得られません。
※公立大学協会ホームページ (<http://www.kodaikyo.org/nyushi>) 参照
- ④入学手続書類等は、令和2年2月18日（火）午後5時までに必着するよう本人が直接持参するか又は「書留郵便」で発送してください。

16. 入学前教育

農学部の推薦入試合格者は、合格後、必要に応じて入学前教育を実施します。

17. 推薦入試志願者が国公立大学・学部の一般入試を志願する場合の取扱い

推薦入試志願者も、不合格となった場合に備えて、本学または他の国公立大学・学部の一般入試の「前期日程」から1つ、「後期日程」から1つの合計2つの大学・学部にも出願することができます。ただし、出願に際しては、志望する大学・学部・学科等が指定する令和2年度大学入試センター試験の教科・科目を受験していること及び入学検定料を新たに納入することが必要です。

18. 個人情報利用等について

- (1) 本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報は、次のとおり利用又は提供しますので、あらかじめご了承ください。
 - ①入学者選抜、合格発表及び入学手続に係る業務で利用します。
 - ②入学手続者及びその保護者等の住所・氏名等につき、学生支援関係業務（健康診断、入学料免除、入学料徴収猶予、授業料免除、奨学生採用、就職支援等）、教務関係業務（学籍管理、修学指導、成績管理等）、納付金関係業務（授業料徴収等）で利用します。
 - ③入学者選抜に係る統計処理及び調査研究で利用します。なお、統計処理及び調査研究の結果発表を行う際は、個人が特定できないよう配慮します。
 - ④国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、合否及び入学手続き等に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に提供します。
 - ⑤本学の関連団体である琉球大学同窓会、琉球大学後援財団、各学部・学科同窓会及び各学部・学科後援会に、入学手続者の氏名等の個人情報を当該組織の活動に必要な範囲において提供する場合があります。
- (2) 上記(1)の各種業務での利用にあたっては、本学から当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）に、必要な限度において当該個人情報を提供する場合があります。この場合、受託業者に対し、当該個人情報について、その利用の目的若しくは方法の制限その他必要な制限を付し、又はその漏えい防止その他個人情報の適切な管理のために必要な措置を講ずることを求めます。
- (3) 出願書類の不備等がある場合、その訂正・補完を速やかに行っていただくため、本学を受験されること及び出願書類に不備等があることを、保護者又は出身高等学校等に通知する場合があります。
- (4) 本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報は、上記及び独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律第9条に規定されている場合を除き、本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

19. 入試情報開示に関する事項

(1) 個別学力検査等の採点・評価基準

① 国際地域創造学部

国際地域 創造学科	小論文	○ 考察力や論理的思考力等を評価する。
	面接	○ 学びに対する意欲，目的，志向性を総合的に評価する。
	調査書 推薦書 志願理由書	○ 学業成績全般についてみる。 ○ 課外活動，社会的活動等をみる。

② 教育学部 学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻

技術教育 専修	口頭試問を 含む面接	○ 技術科教師への意欲をみる。 ○ 技術に関する基礎的な知識と技術的体験及び技術的思考力をみる。
	調査書	○ 理数系科目の評定及び総合評定をみる。 ○ 取得資格，研究発表等の受賞，課外活動，社会的活動等をみる。

③ 農学部

亜熱帯地域 農学科	小論文	○ 設問に合わせた文章の構成力，理解力，論理的表現力を総合的に評価し，点数化する。
亜熱帯農林 環境科学科	面接	○ 志願理由・農学分野における学習意欲，長所・特技等に関する自己アピールなどの質疑をとおして，意欲や個性などを評価し，これらを総合的に点数化する。
地域農業 工学科	調査書	○ 評定平均値を10倍し，点数化する。
亜熱帯生物 資源科学科 (健康栄養 科学コース を含む)	志願理由書	○ 進学目的，将来の計画及び長所・特技等・アピールなどを総合的に評価し点数化する。

④ 教育学部 学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻 (英語重視)

英語教育 専修	面接	○ 志望理由，動機，将来の進路計画，英語学習や英語教育に関する意欲，興味などについて英語による面接を行う。
	調査書	○ 「教科全体の評定平均値」を評点化する。

⑤ 農学部（英語重視）

亜熱帯地域農学科	面接	○ 志願理由，農学分野に対する学習意欲，長所，特技等に関する自己アピールなどの質疑をとおして，意欲や個性および英語によるコミュニケーション能力などを総合的に点数化する。
亜熱帯農林環境科学科	調査書	○ 評定平均値を10倍し，点数化する。
地域農業工学科	志願理由書	○ 進学のための目的，将来の計画及び長所・特技等・アピールなどを総合的に評価し，点数化する。
亜熱帯生物資源科学科 （健康栄養科学コースを除く）		

(2) 合否判定基準

① 全学部の基本的な基準

○ 個別学力検査等の成績の総合得点により，上位から順次合格者とする。
○ 個別学力検査等（実技検査，小論文，面接等を含む）のいずれか1科目でも欠席又は0点の者については，不合格とする。

② 学部ごとの基準

1) 国際地域創造学部

国際地域創造学科	○ 小論文，面接及び提出書類（調査書等）と合わせて総合的に判定する。
----------	------------------------------------

2) 教育学部（学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻）

技術教育専修	○ 面接（口頭試問を含む）及び出願書類を総合的に判断する。
（英語重視） 英語教育専修	○ 面接（英語で行う）及び出願書類を総合的に判断する。

3) 農学部

亜熱帯地域農学科 亜熱帯農林環境科学科 地域農業工学科 亜熱帯生物資源科学科 （健康栄養科学コースを含む）	○ 小論文150点，面接150点，調査書50点，志願理由書50点の配点とし，総合得点（400点）の順位で判定する。
（英語重視） 亜熱帯地域農学科 亜熱帯農林環境科学科 地域農業工学科 亜熱帯生物資源科学科 （健康栄養科学コースを除く）	○ 面接300点，調査書50点，志願理由書50点の配点とし，総合得点（400点）の順位で判定する。

(3) 試験成績開示

令和2年度推薦入試Ⅰの個人成績を、合格者・不合格者を問わず、インターネット出願システムで試験成績開示を希望した方に開示します。申請方法、開示内容及び開示方法は以下のとおりです。

①申請方法

インターネット出願システムで出願の際に、成績開示を希望した方に試験成績を開示します。手数料及び郵送料（660円）を負担いただきます。なお、出願時に申請しなかった方は「保有個人情報開示請求」により成績開示請求をすることができます。

②開示内容

- 1) 当該年度のみ開示します。
- 2) 個別学力検査等の得点を個別に開示します。

③開示方法

インターネット出願システムで登録した住所宛に「個人成績通知書」を送付します。

なお、「個人成績通知書」は令和2年5月28日（木）以降に順次発行しますが、1か月程度日数を要する場合があります。

出 願 書 類 等 一 覧

高等学校等から取り寄せる書類	
1	調査書
2	資格取得等を証明する資料（英語重視のみ）
3	住民票の写し（外国籍の者のみ）
インターネット出願サイトから印刷する書類	
4	出願確認票
5	宛名ラベル
本学様式指定の書類	
6	推薦書
7	志願理由書

出 願 書 類 等 の 記 入 上 の 注 意

記入に当たっては、本募集要項を熟読し、以下の事項に注意して記入してください。

1. 記入は黒のボールペン（消せるボールペンは不可）を使用してください。
2. 通称・略字等は使用せず、漢字は楷書で、数字は算用数字で正確かつ丁寧に記入してください。
3. 「※印の欄」（受験番号欄、出欠欄等）は記入しないでください。
4. 記入不備がある場合は、受理しないので注意してください。
5. インターネット出願登録を行い、入学検定料を払込した後の記載内容の変更は認めません。
6. インターネット出願登録を行い、入学検定料を払込した後に、本人及び保護者の連絡先、住所を変更した場合は、直ちに出席した各学部の学務係（表紙裏面「問い合わせ先等一覧」参照）に連絡してください。